

2024年度 第3回九大本番レベル模試(教法経学部) 国語 採点基準

一 (評論) 採点基準 (合計 60点)

問1 2点×3＝6点

(解答) ①＝オ ②＝カ ③＝イ

問2 10点

(解答例)

A①○1点

A②○2点

南部地域人の祖先は、イギリス周辺で牧畜を営むスコッチ・アイリッシュが多く、〈A3点〉

B①○

B②○

そこでは家畜泥棒が多発するに、治安維持の公権力が存在せず、〈B2点〉

C○2点

自分の身は自分で守るしかなく、〈C2点〉

D○3点

それが周囲に威嚇的になる規範として世代を超えて形成された。〈D3点〉 (10点)

◎ 採点のポイント

※ A、B、C、Dは条件同士において部分採点可。

A「南部地域人の祖先は、イギリス周辺で牧畜を営むスコッチ・アイリッシュが多く、」〈3点〉

※傍線部中の「名譽の文化」の形成過程を説明するための前提条件。日。

①「南部地域人の祖先は、」の要素。(1点)

○「南部地域人の祖先」の多くは、「アメリカ南部の人びとの血筋は、」などでも可。

×「南部地域人の祖先」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

②「イギリス周辺で牧畜を営むスコッチ・アイリッシュが多く、」の要素。(2点)

○「イギリス周辺部で牧畜を生業とするスコッチ・アイリッシュが多く、」「英国周縁部で牧畜業を営むスコッチ・アイリッシュに人々が多く、」などでも可。

×「イギリス周辺で牧畜」「スコッチ・アイリッシュが多い」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

B 「そこでは家畜泥棒が多発するのに治安維持の公権力が存在せず、」〈2点〉

※Aの前提条件から引き出される〈因果関係〉の〈因〉の条件。

①「そこでは家畜泥棒が多発するのに」の要素。(1点)

○「他人から家畜を盗む動機も強かったが」「そこでは家畜泥棒が頻発するのに」などでも可。

✕「家畜泥棒が多発」のニュアンスの成分が入っていないければ✕。

②「治安維持の公権力が存在せず、」の要素。

○「治安維持のための公権力が機能せず、」「治安を維持の公権力が不在であり、」などでも可。

✕「治安維持の公権力が不在」のニュアンスの成分が入っていないければ✕。

C「自分の身は自分で守るしかなく、」〈2点〉

※Aの前提条件から引き出される〈因果関係〉の〈果〉の条件。

○「自分で自分を守るしかなく、」「自己防衛を自分でやるしかなく、」などでも可。

✕「自分の身は自分で守るしかない」のニュアンスの成分が入っていないければ✕。

D「それが周囲に威嚇的になる規範として世代を超えて形成された。」〈3点〉

※B、Cをまとめて結論付ける条件。

○「結果的に周りに威嚇的に振舞う規範となって世代を超えて受継がれた。」「そのため周囲に対して挑発するような規範として形成され、世代を通して継承された。」などでも可。

✕「周囲を威嚇する規範」「世代を超えて形成」のニュアンスの成分が入っていないければ✕。

問3 9点

(解答例)

A①〇2点

A②〇1点

アメリカの中で自動車などの製造業が衰退した

「ラストベルト」と呼ばれる地域に根付き、 〈A 3点〉

B〇1点

トランプ政権誕生の力となった、 〈B 1点〉

C①〇1点

C②〇2点

C③〇2点

「忘れられた白人」の暴力に価値を置く精神文化。 〈C 5点〉 (9点) (80字)

◎採点のポイント

※A、B、Cは条件同士おいて、部分採点可。

A「アメリカの中で自動車などの製造業が衰退した『ラストベルト』と呼ばれる地域に根付き、」〈3点〉

※ 傍線部中の『「名譽の文化」に類似した文化』を説明するための地域的な前提条件。

①「アメリカの中で自動車などの製造業が衰退した」の要素。(2点)

○「アメリカの内部で自動車を中心とする製造業が衰退した」「アメリカの中の自動車などの製造業が後退した」などでも可。

✕「アメリカの中で」「(自動車などの)製造業が衰退した」のニュアンスの成分がそろっていないければ✕。

- ② 『ラストベルト』と呼ばれる地域に根付き、」の要素。(1点)
- 『ラストベルト』と呼ばれる地域に浸透する、」『ラストベルト』地域に形成された、
 - × 『ラストベルト』に根付き、」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

B 「トランプ政権誕生の力となったが、」〈1点〉

※傍線部中の『「名誉の文化』に類似した文化』を説明すべく、Aを説明するための一方の条件。

- 「トランプ政権誕生の原動力となったが、」トランプ政権誕生の後ろ盾となったが、」などでも可。
- × 「トランプ政権誕生の力となった」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

C 『忘れられた白人』の暴力に価値を置く精神文化。』〈5点〉

※傍線部中の『「名誉の文化』に類似した文化』を説明すべく、Aを説明するためのBとは〈矛盾〉する他方の条件。

① 『忘れられた白人』の「」の要素。(1点)

- × 『忘れられた白人』の成分が入っていないければ×。

② 「暴力に価値を置く」の要素(2点)

- 「暴力を価値づける」「暴力に価値観を置く」な
- × 「暴力に価値を置く」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

③ 「精神文化。」の要素。(2点)

- × 「(精神)文化」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

問4 11点

(解答例)

A ○2点

ヴァンス氏はエリートとは縁のない人生を送っていたが、

B ○2点

B ○3点

〈B 5点〉

教育熱心な祖母のサポートもあって、イェール大学を卒業し、弁護士資格を持ち、実業家として活躍して、

C ○1点

C ○1点

C ○2点

なめられた時でも、暴力の発動を制御しうる 家族文化を築きつつあるという点。〈C 4点〉(11点)

◎ 採点のポイント

※ A、B、Cは条件同士において、部分採点可。

A 「ヴァンス氏はエリートとは縁のない人生を送っていたが、」〈2点〉

※傍線部を説明する一方の条件。

○ 「ヴァンス氏は全くエリートとは交わらない人生を歩んでいたが、」「ヴァンス氏はエリートとは縁遠い生活をしてきたが、」などでも可。

× 「ヴァンス氏」「エリートとは縁のない人生」の成分がそろっていないければ×。

B 「教育熱心な祖母のサポートもあって、イエール大学を卒業し、弁護士資格を持ち、実業家として活躍して、」
〈5点〉

※傍線部を説明する、Aとは〈矛盾〉する他方の条件。

① 「教育熱心な祖母のサポートもあって、イエール大学を卒業し、」の要素。(2点)

○ 「教育に強い価値観をおく祖母のサポートもあって、イエール大学を卒業し、」「教育熱心な祖母の学習サポートを受けて、イエール大学を卒業しえて、」などでも可。

× 「教育熱心な祖母のサポート」「イエール大学卒業」のニュアンスの成分がそろっていないなければ×。

② 「弁護士資格を持ち、実業家として活躍して、」の要素。(3点)

○ 「弁護士資格を持って投資会社の社長を務め、」「弁護士資格のある若き実業家として活動し、」などでも可。

× 「弁護士資格」「実業家として活躍」のニュアンスの成分がそろっていないなければ×。

C 「なめられた時でも暴力の発動を制御しうる家族文化を築きつつあるということ。」〈4点〉

※Aのマイナスを否定してBのプラスへと流し込んでまとめる条件。

① 「なめられた時でも」の要素。(1点)

○ 「舐められることがあっても、」「『なめられた』ときにも」などでも可。

× 「なめられた時でも」のニュアンスの成分が入っていないなければ×。

② 「暴力の発動を制御しうる」の要素。(1点)

○ 「暴力へ訴えることを制御しうる」「暴力の発動を抑制しうる」などでも可

× 「暴力の発動を制御」のニュアンスの成分が入っていないなければ×。

③ 「家族文化を築きつつあるということ。」「の要素。(2点)

○ 「家族の生活を築きつつあるということ。」「家族を大切にす文化を構築しつつあること。」「などでも可
× 「家族文化を築きつつある」のニュアンスの成分が入っていなければ×。

問5 12点

(解答例)

A①〇1点 A②〇2点

A③〇1点

人々は 各々の家族や共同体の価値観により 異なった嗜好性や生活習慣を持つが、〈A 4点〉

B①〇1点 B②〇1点

B③〇1点

この価値観が 人々の無意識の行動や 意思決定を制御するため、〈B 3点〉

C①〇3点

C②〇2点

異なる社会集団同士は交わらないという 理論 〈C 5点〉(12点)

◎ 採点のポイント

※ A、B、Cは条件同士において、部分採点可。

A 「人々は各々の家族や共同体の価値観により異なった嗜好性や生活習慣を持つが、」〈4点〉

※ 傍線部中の「ハビトウス理論」を説明するための前提条件。

① 「人々は」の要素。(1点)

× 「人(々)」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

② 「各々の家族や共同体の価値観により」の要素。(2点)

○ 「それぞれの家族や共同体の価値意識により」「家族毎や共同体の価値観にしたがって」などでも可。
× 「各々の家族」「共同体の価値観」のニュアンスの成分がそろっていないければ×。

③ 「異なった嗜好性や生活習慣を持つが、」の要素。(1点)

○ 「嗜好性や生活習慣が大きく違うが、」「異なった好みや生活上の習慣を持つが、」などでも可。
× 「異なった嗜好性や生活習慣を持つ」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

B 「この価値観が人々の無意識の行動や意思決定を制御するため、」〈3点〉

※ 「ハビトゥス理論」を説明すべく、Aを説明する〈因果関係〉の〈因〉の条件。

① 「この価値観が」の要素。(1点)

× 「価値観」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

② 「人々の無意識の行動や」の要素(1点)。

○ 「人々の無意識的な振舞や」「人々の無意識のままになされる行動や」などでも可。
× 「人々の無意識の行動」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

③ 「意思決定を制御するため、」の要素。(1点)

○ 「意思決定をコントロールするため、」「意思決定を規制するので、」などでも可。
× 「意思決定を制御」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

C 「異なる社会集団同士は交わらないという理論。」〈5点〉

※ 「ハビトゥス理論」を説明すべく、Aを説明する〈因果関係〉の〈果〉の条件。

① 「異なる社会集団同士は交わらないという」の要素(3点)

○ 「異なる社会集団同士は交流しないという」「異なる社会集団間では行き交うことがないという」などでも可。

× 「異なる社会集団同士」情動的な状態「交わらない」のニュアンスの成分がそろっていないければ×。

② 「理論」の要素。(2点)

× 「理論」のニュアンスに相当する要素でなければ×。

(解答例)

A①〇3点

A②〇2点

事前のメディア予測によれば泡沫候補でしかなかったトランプ氏が

アメリカの「忘れられた白人」の人情と

A③〇1点

影響力を取り込んで 勝利したことは、〈A 6点〉

B②〇2点

B③〇3点

『上から目線』で 一般人に経済の正論を語るだけでなく、

人情にも訴える必要性を教えているから。〈B 6点〉

(12点)

◎ 採点のポイント

※A、Bは条件同士において、部分採点可。

A 「事前のメディア予測によれば泡沫候補でしかなかったトランプ氏がアメリカの『忘れられた白人』の人情と影響力を取り込んで勝利したことは、」〈6点〉

※傍線部の理由を説明する〈因果関係〉の〈因〉の条件。

① 「事前のメディア予測によれば泡沫候補でしかなかったトランプ氏が」の要素。(3点)

○ 「事前のマスメディアの予測によれば泡沫候補にすぎなかったトランプ氏が」「マスメディアが事前に予測したものによれば泡沫候補でしかなかったトランプ氏が」などでも可。

× 「事前のメディア予測」「泡沫候補」「トランプ氏」の成分がそろっていないなければ×。

② 「アメリカの『忘れられた白人』の人情と影響力を取り込んで」の要素。(2点)

○ 「アメリカの『忘れられた白人』の人情を引き付けて」「アメリカにおける『忘れられた白人』の人情と影響力を味方につけて」などでも可。

× 「アメリカの」「忘れられた白人」「人情(と影響力)を取り込む(訴える)」のニュアンスの成分がそろっていないなければ×。

③ 「勝利したことは、」の要素。(1点)

× 「勝利」のニュアンスの成分が入っていないなければ×。

B 『上から目線』で一般人に経済の正論を語るだけでなく、人情にも訴える必要性を教えているから。』〈6点〉

※ 傍線部の理由を説明する〈因果関係〉の〈果〉の条件。

① 『上から目線』で」の要素。(1点)

× 『上から目線』のニュアンスの成分が入っていないなければ×。

② 「一般人に経済の正論を語るだけでなく、」の要素。(2点)

○ 「一般の人に経済の正論を語るのみならず、」普通の人に経済の精緻で明快な議論を語るだけでなく、」などでも可。

× 「一般人」「経済の正論を語る」のニュアンスの成分がそろっていないなければ×。

③ 「人情にも訴える必要性を教えているから。」の要素。(3点)

○ 「人情にもふれる必要性を示唆しているから。」「人情にも響くように語ることの不可避性を示しているから。」などでも可。

× 「人情にも訴える」「必要性を教えている」のニュアンスの成分がそろっていないければ×。

□ 現代文（評論）採点基準（合計60点）

問1 8点

（解答例）

A①〇1点 A②〇1点 A③〇1点

フェルメールは 画家というより 科学的なマインドの持ち主だったのであり、〈A3点〉

B①〇1点 B②〇1点 B③〇1点

流れゆく時間、移ろいゆく光の一瞬をとらえるために、 時間を止めたいという願望をもつ 近代科学と同様に、

〈C2点〉 一枚一枚精密な静止画を描こうとしていたから。〈C2点〉 〈8点〉 〈B3点〉

◎ 採点のポイント

※A、B、Cは条件同士において、部分採点可。

A「フェルメールは画家というより科学的なマインドの持ち主だったのであり、」〈3点〉

※ 傍線部の理由説明をするための前提条件。

① 「フェルメールは」の要素。（1点）

× 「フェルメール」の成分が入っていないならば×。

② 「画家というより」の要素。（1点）

○ 「画家と呼ぶより」「画家とされるより」などでも可。

× 「画家であることの否定」のニュアンスの成分が入っていないならば×。

③ 「科学的なマインドの持ち主だったのであり、」の要素。（1点）

○ 「科学的な精神の所有者だったのであり、」「科学的なマインドに導かれた人だったのであり、」などでも可。

× 「科学的なマインドの持ち主」のニュアンスの成分が入っていないならば×。

B「流れゆく時間、移ろいゆく光の一瞬をとらえるために、時間を止めたいという願望をもつ近代科学と同様に、」〈3点〉

※ 傍線部の理由説明をすべく、Aを説明してゆく一方の条件。

① 「流れゆく時間、移ろいゆく光の一瞬をとらえるために、」の要素。（1点）

○ 「流れる時間、移ろう光の一瞬をとらえるために、」「時間の流れ、光の移ろい一瞬をとらえようとして、」などでも可。

× 「流れる時間、移ろう光の一瞬をとらえる」のニュアンスの成分が入っていないならば×。

② 「時間を止めたいという願望をもつ」の要素。（1点）

○ 「時間を止めることを願う」「時間をとどめたいと思う」などでも可。

× 「時間を止めたいという願望」のニュアンスの成分が入っていないならば×。

③ 「近代科学と同様に、」の要素。（1点）

○ 「近代科学と同じ姿勢で、」「近代科学に同行して」などでも可。

× 「近代科学と同様」のニュアンスの成分が入っていないならば×。

C 「一枚一枚精密な静止画を描こうとしていたから。」〈2点〉

※傍線部の理由説明をすべく、Aを説明してゆく、Bとは〈矛盾〉しない他方の条件。

○ 「一枚一枚精密な静止画を描くことを目指していたから。」 「一枚毎に精密な静止画を作り出そうとしていたから。」 なども可。

× 「精密な静止画」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

問2 9点

(模範解答例)

A ○1点

17世紀初頭ガリレオは、〈A 1点〉

B ○1点

B ② ○1点

へびつかい座の方向に

金星に匹敵する程明るい新星が現れたが、〈B 2点〉

C ○1点

C ② ○2点

約18か月後に

暗い闇に消えていったのを見て、〈C 3点〉

D ○1点

D ② ○2点

世界が

恒久的でないのを知ったということ。〈D 3点〉 (9点) (八〇字) (9点)

◎ 採点のポイント

※AとDは条件同士において、部分採点可。

A 「17世紀初頭ガリレオは、」〈1点〉

※傍線部を説明するための「主体」明示の条件。

○ 「ガリレオが17世紀初頭に」「17世紀初頭のガリレオが、」などでも可。

× 「(17世紀初頭) ガリレオ」の成分がそろっていないければ×。

B 「へびつかい座の方向に金星に匹敵する程明るい新星が現れたが、」〈2点〉

※傍線部を説明すべく、Aを説明する一方の条件。

① 「へびつかい座の方向に」の要素。(1点)

○ 「へび使い座の方に」「へびつかい座の方角に」などでも可。

× 「へびつかい座の方向」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

② 「金星に匹敵する程明るい新星が現れたが、」の要素。(1点)

○ 「金星にも負けないほどの明るい新星が現れたが、」「金星に伍するほど明るい新星が出現したが、」などでも可。

× 「金星に匹敵する程明るい新星」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

C 「約18か月後に暗闇に消えていったのを見て、」〈3点〉

※傍線部を説明すべく、Aを説明する、Bとは〈矛盾〉する他方の条件。

① 「約18か月後に」の要素。(1点)

※ 「約18か月後」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

② 「暗闇に消えていったのを見て、」の要素。(2点)

○ 「暗闇の底に消えていったのを見て、」「暗闇に消滅していったのを目撃して、」などでも可。

※ 「(暗闇に) 消失」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

D 「世界が恒久的でないのを知ったということ。」(3点)

※ B、Cをまとめて結論付ける条件

① 「世界が」の要素。(1点)

※ 「世界」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

② 「恒久的でないのを知ったということ。」の要素。(2点)

○ 「固定的なものではないのを知った」「世界は変わりゆくものであるのを知った」などでも可。

※ 「恒久的でないのを知る」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

問3 9点

(模範解答例)

A ○1点

世界は絶え間なく動き移り、続けており、(A 1点)

B ○2点

人間の目はそうした対象を捉え続けられないが、(B 2点)

C ①○1点

C ②○1点

C ③○1点

物体の運動を「瞬」とめ、

そこに至った時間と、

そこから始まる時間を捉えるための

C ④○1点

C ⑤○2点

微分法が「2世紀に生み出され、

力学と運動が記述可能になったこと。

(C 6点)(9点)

◎ 採点のポイント

※ A、B、Cは条件同士において、部分採点可。

A 「世界は絶え間なく動き移り続けており、」(1点)

※ 傍線部を説明するための一方の条件。

○ 「世界は絶え間なく変動し続けており、」「世界は絶えず動き変化しており、」などでも可。

※ 「背愛の絶え間ない変動」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

B 「人間の目はそうした対象を捉え続けられないが、」(2点)

※ 傍線部を説明するための、Aとは〈矛盾〉する他方の条件。

○ 「人間の目はその変動する対象を把握し続けられないが、」「人間の目はそうした変容し続ける世界を掌握し続けられないが、」などでも可。

※ 「人間(の目)はその変動する対象を把握し続ける」の否定のニュアンスの成分が入っていないければ×。

C 「物体の運動を一瞬とどめ、そこに至った時間と、そこから始まる時間を捉えるための微分法が17世紀に生み出され、力学と運動が記述可能になったこと。」〈6点〉

※ 傍線部の説明の核心を、A、Bを否定する形でまとめる条件。

① 「物体の運動を一瞬とどめ、」の要素。(1点)

○ 「物体の運動を瞬間的に停止させ、」 「物体の運動の瞬間を捉え、」 などでも可。

× 「物体の運動を一瞬とどめる」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

② 「そこに至った時間と、」の要素。(1点)

○ 「そこに到達した時間と、」 「そこへ帰着した時間と、」 などでも可。

× 「そこに至った時間」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

③ 「そこから始まる時間を捉えるための」の要素。(1点)

○ 「そこから開始される時間を把握するための」 「そこから出発する時間を把握するための」 などでも可。

× 「そこから始まる時間を捉える」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

④ 「微分法が17世紀に生み出され、」の要素。(1点)

○ 「微分法が17世紀に発見され、」 「17世紀に微分法が編みだされ、」 などでも可。

× 「微分法の発見」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

⑤ 「力学と運動が記述可能になったこと。」の要素。(2点)

○ 「力学と運動が記述可能になったこと。」 「力学と運動が記述可能になったこと。」 などでも可。

× 「力学と運動が記述可能」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

問4 11点

(解答例)

A ○1点

フェルメールは、 〈A 1点〉

B ① ○1点

たとえば《真珠の耳飾りの少女》において、

B ② ○1点

B ③ ○1点

ふとこちらに視線をなげかける

B ④ ○1点

その一瞬を捉えているが、 〈B 4点〉

C ① ○1点

そこに至る時間と、

C ② ○1点

絵画としての微分法を発見すること、

〈C 4点〉

D ○2点

17世紀の科学、数学、天文学と同じ潮流の中にあつたということ。 〈D 2点〉 (11点)

◎ 採点のポイント

※ A～Dは条件同士において、部分採点可。

A 「フェルメールは、」 〈1点〉

※ 傍線部を説明するための「主体明示」の条件。

× 「フェルメール」の成分が入っていないければ×。

B 「たとえば『真珠の耳飾りの少女』において、少女が振り返りながら、ふとこちらに視線をなげかけるその一瞬を捉えているが、」〈4点〉

※ 傍線部を説明するための具体的な一方の条件。

① 「たとえば『真珠の耳飾りの少女』において、」の要素。(1点)

○ 「たとえば『真珠の耳飾りの少女』では、」「具体的には『真珠の耳飾りの少女』に言及すれば、」などでも可。

× 「『真珠の耳飾りの少女』」の成分が入っていないければ×。

② 「少女が振り返りながら、」の要素。(1点)

○ 「少女が振り返りつつ、」「少女が振り返る素振りしながら、」などでも可。

× 「少女が振り返る」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

③ 「ふとこちらに視線をなげかける」の要素。(1点)

○ 「ふとこちらに視線を向ける」「瞬間的にこちらへ視線をなげやる」などでも可。

× 「ふとこちらに視線を向ける」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

④ 「その一瞬を捉えているが、」の要素。(1点)

○ 「その瞬間を把握しているが、」「まさにその一瞬を捕捉しているが、」などでも可。

× 「一瞬を捉えている」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

C 「そこに至る時間と、そこに始まる瞬間を捉える、絵画としての微分法を発見すること」〈4点〉

※ 傍線部を説明するための抽象的な(≠概念的な)な他方の条件。

① 「そこに至る時間と、」の要素。(1点)

○ 「そこに到達した時間と、」「そこへ帰着した時間と、」などでも可。

× 「そこに至った時間」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

② 「そこに始まる瞬間を捉える、」の要素。(1点)

○ 「そこから開始される時間を把握するための」「そこから出発する時間を把握するための」などでも可。

× 「そこから始まる時間を捉える」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

③ 「絵画としての微分法を発見すること」の要素。(2点)

○ 「絵画における微分法を見出すこと」で、「微分法に匹敵する絵画上の方法を発見すること」などでも可。

× 「絵画としての微分法を発見する」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

D 「17世紀の科学、数学、天文学と同じ潮流の中にあつたということ」〈2点〉

※ B、Cをまとめて結論付ける条件。

○ 「17世紀の科学、数学、天文学などと同じ志向性をもっていたということ。」「17世紀の科学、数学、天文学等と方向性を共有していたということ。」などでも可。

× 「17世紀の科学(or数学 or天文学など)」と同じ潮流」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

(解答例)

A①〇1点

A②〇1点

A③〇1点

2つの絵には共通点が多く、

ほぼ同じサイズであり、

《地理学者》には1669年、《天文学者》には1668

A④〇1点

年という年記が入っていて、

対として所蔵されていた可能性がある。〈A4点〉

B①〇1点

B②〇2点

また同じ衣装を着て同じ部屋にいて、

画中の細部にも共通点、共有性がある。〈B3点〉

C①〇1点

C②〇2点

これらのことから、2つの画名の異なる絵に描かれた人物は、恐らく同一人物であると論じている。〈C3点〉

(10点)

◎ 採点のポイント

※A、B、C、Dは条件同士において、部分採点可。

A「2つの絵には共通点が多く、ほぼ同じサイズであり、《地理学者》には1669年、《天文学者》には1668年という年記が入っていて、対として所蔵されていた可能性がある。」〈4点〉

※傍線部の二つの絵の外形における関係を表現する条件。

①「2つの絵には共通点が多く、」の要素。(1点)

○「2つの絵には似ている点が多く、」2つの絵には共通性が多く、」などでも可。

×「2つの絵には共通点」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

②「ほぼ同じサイズであり、」の要素。(1点)

○「サイズがほぼ同じであり、」「ほぼ同じ大きさであり、」などでも可。

×「ほぼ同じサイズ」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

③「《地理学者》には1669年、《天文学者》には1668年という年記が入っていて、」の要素。(1点)

○「《地理学者》には1669年、《天文学者》には1668年の年記が記されていて、」「年記が《地理学者》では1669年、《天文学者》では1668年となっている、」などでも可。

×「《地理学者》には1669年、《天文学者》には1668年の年記」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

④「対として所蔵されていた可能性がある。」の要素。(1点)

○「1対のものとして所蔵されていた可能性がある。」「対として保有されていた可能性がある。」などでも可。

×「対として所蔵されていた可能性」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

B「また同じ衣装を着て同じ部屋にいて、 画中の細部にも共通点、共有性がある」〈3点〉

※傍線部の二つの絵の中身における関係を表現する条件。

①「また同じ衣装を着て同じ部屋にいて、」の要素。(1点)

○「また同じ衣装で同じ部屋にいう、」「さらに衣装と部屋が同じだという、」などでも可。

×「同じ衣装で同じ部屋」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

②「画中の細部にも共通点、共有性がある」の要素。(2点)

○「絵の中の描かれている細部にも共通点、共有性がある」「画中の中身にも共通点、共有性がある」などでも可。

※「画中の細部にも共通点or共有性」のニュアンスの成分が入っていないなければ×。

C「これらのことから、2つの画名の異なる絵に描かれた人物は恐らく同一人物であると論じている。」〈3点〉

※A、Bをまとめて結論付ける条件。

①「これらのことから、2つの画名の異なる絵に描かれた人物は」の要素。(1点)

○「以上から、2つの題名の異なる絵に描かれた人物は」「これらのことを考慮すれば、2つの画名の違う絵に描かれているのは」などでも可。

※「2つの画名の異なる絵に描かれた人物」のニュアンスの成分が入っていないなければ×。

②「恐らく同一人物であると論じている。」の要素。(2点)

○「恐らく同一人物であると推論している。」「多分同一人物であると結論つけている。」などでも可。

※「恐らく同一人物」のニュアンスの成分が入っていないなければ×。

問6 13点

(模範解答例)

A①○1点

A②○1点

A③○1点

《地理学者》の地球儀も

《天文学者》の天空儀なども

プロフェッショナルなものではなく

A④○1点

趣味的で好事家的なもので、決定的に古く、〈A 4点〉

B①○1点

B②○2点

また両者は研究室ではなく、フェルメールの部屋にいたことから、〈B 3点〉

C①○1点

C②1点

C③○1点

絵には依頼者があり、それは学者然として描かれるのを望んだ、純然たる学者とはいえないが、

C④○1点

C⑤○2点

顕微鏡の父といわれる、レーヴェンフックだと答えている。〈C 6点〉(13点)

◎ 採点のポイント

A「《地理学者》の地球儀も《天文学者》の天空儀などもプロフェッショナルなものではなく、趣味的で好事的なもので、決定的に古く、」〈4点〉

※傍線部の疑問に答えるための一方の条件。

①「《地理学者》の地球儀も」の要素。(1点)

○「地理学者の後ろに見える地球儀も」「《地理学者》に描かれている地球儀も」などでも可。

※「《地理学者》の地球儀」のニュアンスの成分が入っていないなければ×。

②「《天文学者》の天空儀なども」の要素。(1点)

○「天文学者が手をかざしている天空儀なども」「《天文学者》に描かれている天空儀なども」などでも可。

※「《天文学者》の天空儀」のニュアンスの成分が入っていないなければ×。

③「プロフェッショナルなものではなく、」の要素。(1点)

○「専門的なものではなく、」職業上使用するようなものではなく、」などでも可。

×「プロフェッショナルなもの」の否定のニュアンスの成分が入っていないければ×。

④「趣味的で好家的なもの、決定的に古く、」の要素。(1点)

○「好事家が趣味で集めるもので、またきわめて古く、」趣味的な域を出るものではない上に極古く、」などでも可。

×「趣味的 or 好家的で、決定的に古い」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

B「また両者は研究室ではなくフェルメールの部屋にいることから、」〈3点〉

※ 傍線部の疑問に答えるための他方の条件)

①「また両者は研究室ではなく」の要素。(1点)

×「研究室ではない」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

②「フェルメールの部屋にいることから、」の要素。(2点)

○「フェルメールの部屋にいるのだから、」フェルメールの部屋にいる以上、」などでも可。

×「フェルメールの部屋にいる」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

C「絵には依頼者があり、それは学者然として描かれるのを望んだ、純然たる学者とはいえないが、顕微鏡の父といわれるレーウエンフックだと答えている。」〈6点〉

※ A、Bをまとめて結論づける条件。

①「絵には依頼者があり、」の要素。(1点)

○「絵の依頼者がいて、」絵を依頼した者がいて、」などでも可。

×「絵の依頼者がある」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

②「それは学者然として描かれるのを望んだ、」の要素。(1点)

○「それは学者のように描かれるのを希望した、」依頼者は学者として描かれたかった、」などでも可。

×「学者然として描かれるのを望む」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

③「純然たる学者とはいえないが、」の要素。(1点)

○「純粋な学者とはいえないが、」学者プロパーとはいえないが、」などでも可。

×「純然たる学者」の否定のニュアンスの成分が入っていないければ×。

④「顕微鏡の父といわれる」の要素。(1点)

×「顕微鏡の父」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

⑤「レーウエンフックだと答えている。」の要素。(2点)

○「レーウエンフックだと推断している。」レーウエンフックだと結論付けている。」などでも可。

×「レーウエンフックと結論」のニュアンスの成分が入っていないければ×。

三 (古文) 採点基準 (40点)

問1 各3点×3＝9点

① 3点

■ 模範解答

A ○ 3点

寝ないで

■ 各加点要素の加点の条件

A 「寝ないで」(3点)

※ 「寝る」＋打消接続の接続助詞「で」の解釈。
○ 「寝もしないで」などでも○。

② 3点

■ 模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容

A ○ 2点 B ○ 1点

何日か 経ったのに

■ 各加点要素の加点の条件

A 「何日か」(2点)

※ 「日ごろ」の解釈

○ 同意例：「ここ何日間」「幾日も」も可。
✖ 不可例：「このところ」「日常」は不可。

B 「経ったのに」(1点)

※ 「経過する」の意＋完了の助動詞「ぬる」＋逆接の接続助詞「に」の解釈。これらがそろって○。
○ 同意例：「になったが」「経って(しまって)いるのに」でも可。
✖ 不可例：「経ったので」は不可✖。

③ 3点

■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容

A ○2点 B ○1点

連絡も なさらないので

■各加点要素の加点の条件

A 「連絡も」(2点)

※ 「音も」の解釈

○ 同意例：「音信」「連絡」「報告」「お便り」「音沙汰」などでも可とする。

✕ 不可例：「問い合わせ」は不可✕。

B 「なさらないので」(1点)

※尊敬表現「なさる」+打消の助動詞+原因理由(〜ので)すべてそろって1点。

・ 同意例：「なさることがないので」も可。

・ 不可例：「しないので」は不可✕。(尊敬ヌケ)

問2 3点×2＝6点

■解答

ア ラ行四段活用動詞「なる(成る)」の連用形(3点)

イ 断定の助動詞「なり」の連体形(3点)

※解答はこの形であること。部分点はナシ。

問3 5点

■内容説明問題

■模範解答 ※各要素同意表現可。

A ○2点

B ○2点

一年に一度だけしか恋人に逢えない織姫のように、あなたに逢えないで七夕の夜を過ごすのが心外で残念だ

C ○1点

とびうこと。(5点)

■各加点要素の加点の条件

A 「一年に一度だけしか恋人に逢えない織姫のように」(2点)

○七夕の伝説が正確に引用されていること。

○同意例…「七夕の夜だけしか彦星に逢えない織姫のごとく」でも良い。

✖ 不可例…「七夕の織姫のように」のような**一年間に一度という具体的な内容のないものは不可**✖。

B 「あなたに逢えないで七夕の夜を過ごすのが心外で残念だ」(2点)

○同意例…「筆者に逢わずに七夕を過ごすのがつらい」でも可。

✖ 「心外だ」「一人で七夕を過ごす(天の川の眺める)ことになるとは思わなかった」「残念だ」「つらい」のようなマイナスの表現が入っていないものは不可。

✖ 不可例…「女に逢えない」だけでは不可。

C 「ということ」(1点) ✖

○同意例「ということを言っている」などは可。

✖ 不可例…「ととなった。」のような文末処理は不可✖。

✖ C だけ正解では加点無し。

問4 3点

■解答

Ⅱ・Ⅲ・Ⅴ (順不同・完答 3点)

問5 5点

■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容

A ↓ B ○ 4点

A ○ 1点

宮の、女の和歌の返事を見て興味をひかれ、別れることを思いとどまろう という心情。(5点)

■各加点要素の加点の条件

A 「宮の」という心情」(1点)

※設問の問いかけに従った答え方

○同意例…「〜という宮の想い」でも良い。

✖ 不可例…「〜ということ」では不可✖。

✖ 要素Bに得点が無い場合、Aのみ正解では加点無し。

B 「女の和歌を見て興味をひかれ、別れることを思いとどまろう」(4点)

○ 「女の和歌の出来栄へのすばらしさにより女の魅力に気づき別れを留まろう」という内容で○。

○ 同意例…「女の和歌を見たたん愛情があふれだし交際を続けよう」は可。

✖ 不可例…「女のことばかりになってもう一晚滞在しよう」は不可✖。

問6 5点

■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容

A○4点

B○1点

たまには便りをよこしてほしい。 とびうこと。 (5点)

■各加点要素の加点の条件

A「たまには便りをよこしてほしい」(4点)

○同意例：「少しは連絡してほしい」のような内容のものも可とする。

▲「たまには」「少しは」のヌケは▲1点減点。

✖不可例：女性から男性を訪問するとは考えられないので「たまには逢いに来てほしい」は不可✖。

B「とびうこと」(1点)✖

○設問に応じた文末処理

○同意例：「〜と訴えている」でも可。

✖不可例：「連絡をよこす。」のような文末処理は不可✖。

※Bだけ正解のものは加点無し。

問7 5点

■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容

A○3点

B○2点

頼りにできそうもない。 宮様との歌のやりとり。 (5点)

■各加点要素の加点の条件

A「頼りにできそうもない」(3点)

※「頼む」「頼りにする」+不可能の「〜くもなき」「〜き」。

○同意例：「頼りにならない」「あてにすることができない」も可とする。

✖不可例：「頼りになるはずがない」は不可✖。

現代語の「頼む」の意にとっているものは✖。

B「宮様との歌のやりとり」(2点)

※「宮との和歌の」という言葉の補足。

○同意例：「和歌を通じての交際」でも可。

○「歌(和歌)のやりとり」を「手紙のやりとり」としていても可。

✖不可例：「身分の差のある会話」は不可✖。

△「宮様とのやりとり」「など」「歌(和歌・手紙)」が抜けているものは△1点。

問8 2点

(解答)

(ウ)

↓

(ア)

↓

(エ)

↓

(イ)

(完答)

2点

四 (漢文) 採点基準 (合計 40 点)

問 1 6 点

(解答) 不以_二一己之利_一為_レ利

▼例外なし

問 2 各 2 点 × 3 = 6 点

(解答) ㉑ それ ㉒ 人君の位へ

㉓ ああ

問 3 8 点

A ○ ↓

B ○ 4 点

A ○ 4 点

(解答例) 人情として誰も そのような君主の地位に 就きたくない ということ。

☆各加点要素の加点の条件

▲文末表現…「ということ」「こと」でなければ、▲1点減。

▲句点の扱い…句点の扱いは▲1点減。

✖ただし答案三十字で句点がない場合は字数オーバー扱いで全体0点。

※同意表現可。ニュアンスが正しければ許容

A 「人情として誰も…就きたくない」(4点)

○ 「人情として誰も」は、「人は誰しも」「人間ならみな」など。「誰も」でも可。

○ 「就きたくない」は、「収まりたくない」「即位したくない」など。「君主の地位に就きたくない」に合う表現であれば可。

B 「そのような君主の地位に」(4点)

○ 「そのような君主の地位に」「そんな王位に」「その聖天子の地位」「そうした天子の地位」など。「魅力のない王位・地位」が表現できていれば可。

✖ 「地位」だけでは不可。

○ 「君主の地位」「王位」「天子の地位」だけでも不可。「そのような」「そんな」「そうした」「その」が必要。

✖ 「千倍万倍も努力して何の見返りもない君主の地位」など、「そのような」の中身を具体的に表現してあってもよい。本文の内容と合わない場合は不可。

問4 6点×2＝12点

④ 6点

A○2点 B○2点 C○2点

(解答例) また かなら ざるなしと (6点)

☆各加点要素の加点の条件

A 「また」(2点)

B 「かなら」(2点)

C 「ざるなしと」(2点)

○ 「ざるなしと」「は」「ざるはなしと」「ても可」。○ 「と」の抜けは不問

⑥ 6点

A○2点 B○4点

(解答例) もとより かくの「ときか」(6点)

☆各加点要素の加点の条件

A 「もとより」(2点)

B 「かくの「ときか」」(4点)

○ 「かくの「ときか」「は」「かくの「よへなびとや」」。○ 「も」可。

問5 8点

(解答) (才)